

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和5年11月21日(2023.11.21)

【公開番号】特開2023-71670(P2023-71670A)

【公開日】令和5年5月23日(2023.5.23)

【年通号数】公開公報(特許)2023-094

【出願番号】特願2023-16485(P2023-16485)

【国際特許分類】

A 6 1 K 38/17(2006.01)

A 6 1 K 9/08(2006.01)

A 6 1 K 47/04(2006.01)

A 6 1 P 3/06(2006.01)

A 6 1 P 3/10(2006.01)

A 6 1 P 9/12(2006.01)

A 6 1 P 5/50(2006.01)

A 6 1 P 3/04(2006.01)

C 0 7 K 14/00(2006.01)

10

【F I】

A 6 1 K 38/17

A 6 1 K 9/08

A 6 1 K 47/04

A 6 1 P 3/06

A 6 1 P 3/10

A 6 1 P 9/12

A 6 1 P 5/50

A 6 1 P 3/04

C 0 7 K 14/00

Z N A

20

【手続補正書】

30

【提出日】令和5年11月13日(2023.11.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

配列ID番号1のペプチド含む、高血糖症の治療において使用するための医薬組成物。

【請求項2】

前記組成物が経口医薬組成物である、請求項1に記載の医薬組成物。

40

【請求項3】

前記ペプチドが、0.1~1μg/Lの濃度で存在する、請求項1に記載の医薬組成物。

【請求項4】

請求項1~3のいずれか1つに記載の医薬組成物において、前記組成物が、1またはそれ以上の医薬的に許容される担体、1またはそれ以上の医薬的に許容される希釈剤、もしくは1またはそれ以上の医薬的に許容される賦形剤を含む、医薬組成物。

【請求項5】

高血糖症の治療のための医薬組成物の製造における配列ID番号1のペプチドの使用。

【請求項6】

50

前記ペプチドが $0.05 \sim 5 \mu\text{g} / \text{L}$ の濃度で前記医薬組成物中に存在する、請求項 5 に記載の使用。

【請求項 7】

前記ペプチドが $0.1 \sim 1 \mu\text{g} / \text{L}$ の濃度で前記医薬組成物中に存在する、請求項 5 に記載の使用。

10

20

30

40

50